

西東京の教育

発行＝
西東京市教育委員会
〒202-8555
西東京市中町1-5-1
電話 042-464-1311

編集＝
西東京市教育委員会
教育部教育企画課

市ホームページアドレス
<http://www.city.nishitokyo.lg.jp/>

平成22年(2010年)11月1日発行 第45号

図書館の
資料から

田無・保谷の歴史と歩みを振り返る



～西東京市誕生10周年記念事業 図書館主催事業のご案内～

基本コンセプトを「田無・保谷の歴史と歩みを振り返り、西東京市のまちづくり10年を踏まえ、未来へ向かって飛躍する」とする西東京市誕生10周年記念事業の中で、図書館は3つの催しを予定しています。

○平成23年1月21日(金)

記念誌「なつかしの田無・保谷」を発行し、頒布します。

○平成23年3月5日(土)・6日(日)

図書館資料展「西東京市誕生10周年を祝う郷土のあゆみ」を開催します。

○平成23年10月1日(土)

「おとなのための朗読会」を開催します。

記念誌を発売します

合併施行日から10年に当たる平成23年1月21日(金)に、「なつかしの田無・保谷」を発行し、有料で頒布します。平成19年から継続して開催している「なつかしの田無・保谷写真展」では、図録の頒布を求める声が多く寄せられました。そこで、公開した289点の写真パネルの図録に、図書館が保存している歴史的資料の画像やパネルにはしていない写真・地図などを加えた内容で現在作成しています。



→「なつかしの田無・保谷」写真パネル図録
これらの図録をもとに頒布用の記念誌を新たに作ります。

→田無尋常小学校授業風景
昭和13年頃(なつかしの田無・保谷写真展「パネルより」)



歴史資料を公開

西東京市誕生10周年記念式典に合わせ、平成23年3月5日(土)と6日(日)の二日間、図書館資料展「西東京市誕生10周年を祝う郷土のあゆみ」を保谷こもれびホール(小ホール)で開催します。図書館が保存している「地租改正図」や「検地帳」などの歴史資料の現物を公開し、写真パネルの展示とともに、記念誌「なつかしの田無・保谷」の販売を行います。



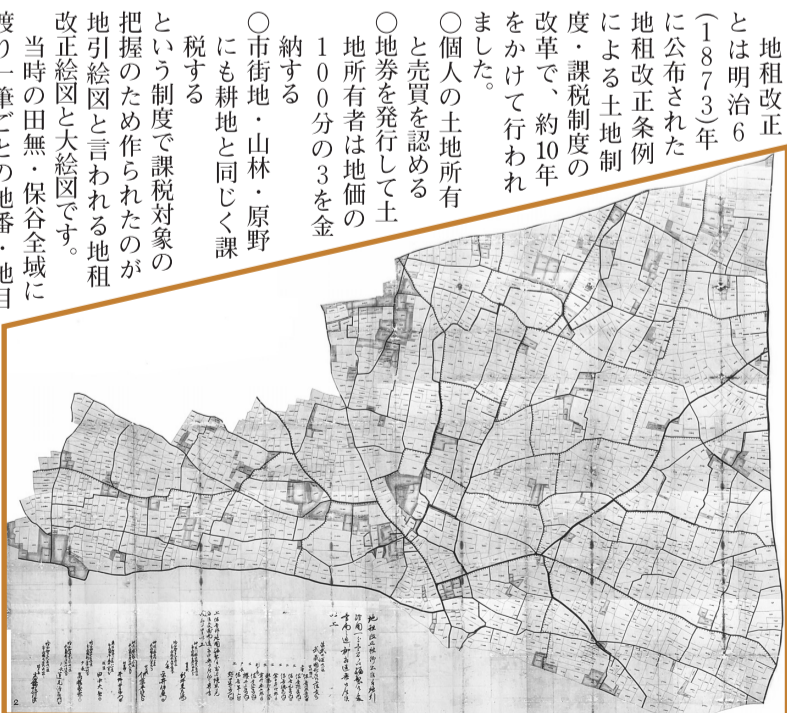
→「田無村御検地帳」の一部
修復前の状態。和紙全体に汚れ、染みが進行し虫食い状態のため開扉不能となりました。

資料の一部を
ご紹介いたします

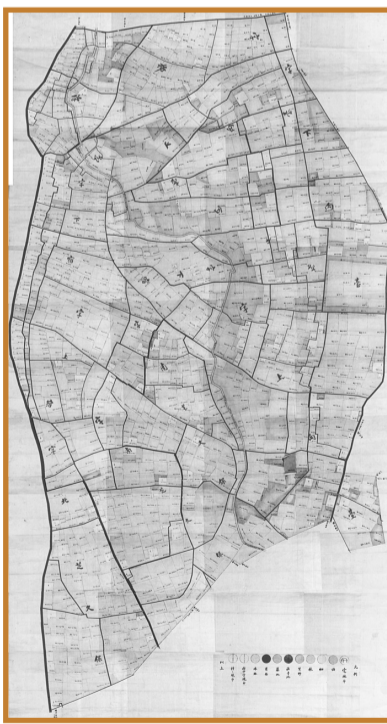
「元禄三年田無村御検地帳」
〔西東京市指定文化財第25号〕

元禄3(1690)年幕府は田無村の代官領を検地し、その記録の正本一組七冊を田無村に下げ渡しました。第七冊目の屋敷分と、全体の総計となる「寄」にあたる一冊が市指定文化財となっています。
残りは修復したことにより、正本と副本があることがわかりました。副本は明治5(1872)年の作成で、神奈川県へ提出する徴税用の名寄帳「田畑其外直段書上帳」を作成するためのもので、明治6(1873)年に提出されました。

「地租改正図」(明治8年6月)
〔西東京市指定文化財第18号〕
「大絵図」(明治9年12月)



←「大絵図」のひとつ
保谷村上保谷地域の富士街道北域、現在のひばりが丘北・住吉町・泉町・保谷町・中町・富士町の部分。向かって左が北になります。



→「地租改正図」のひとつ
田無村青梅街道南域、現在の芝久保町・田無町・南町・向台町の部分。向かって左が北になります。

地租改正とは明治6(1873)年に公布された地租改正条例による土地制度・課税制度の改革で、約10年をかけて行われました。
○個人の土地所有と売買を認める
○地券を発行して土地所有者は地価の100分の3を金納する
○市街地・山林・原野にも耕地と同じく課税する
という制度で課税対象の把握のため作られたのが地引絵図と言われる地租改正図と大絵図です。
当時の田無・保谷全域に渡り一筆ごとの地番・地目・小家・道路・川・水路等が入されています。地租改正図は、田無の地域図3巻と東久留米市内にあった田無飛地の図1巻と絵図編成に関与した者の奥書1巻の計5巻の軸物です。
大絵図は、旧保谷の上保谷地域図2点と下保谷地域図2点の計4点からなる資料です。

大人のための朗読会

平成23年10月1日(土)にコイル田無で、「田無朗読ボランティアの会」と「保谷朗読ボランティアの会」出演の「大人のための朗読会」を開催する予定です。朗読の演目には、「田無と保谷の昔話を取り入れ、「ふるさと西東京市」が実感できるような準備を進めています。



図書館キャラクター
にしとうきょう
西都右京くん

◆図書館

042(465)0823